

（１）真岡てらうち産業団地 第１期予約分譲について

はじめに、真岡てらうち産業団地についてであります。このたび、一部区画について物件の撤去が完了し、用地取得となりましたので、本年３月から第１期分の予約分譲を開始いたします。

今回の募集は、全分譲地およそ１４ヘクタールの内、およそ６．６ヘクタールの街区で、分譲単価につきましては、産業団地の整備にかかる事業費や不動産鑑定などをもとに検討し、１平方メートルあたり２万５，１００円といたしました。

受付期間は、３月１日から２９日までとし、２月１日には、市ホームページにおいて、申し込み企業の資格条件などをまとめた要綱や募集要領を公表いたします。受付期間終了後は、真岡工業団地企業誘致調査委員会において審査を行い、審査期間は４カ月程度を予定しております。立地企業の内定後は、企業の意向を反映させるため、街区の分割や、乗り入れ口などの協議を進めてまいります。

また、残りの街区につきましては、用地取得の状況に応じて、改めて予約分譲の開始時期などを周知してまいります。

（２）まちなか保健室にのみや館オープンについて

次に、駅前館、田町館に続く、まちなか保健室「にのみや館」のオープンについてであります。場所は久下田駅前の駅前どんとこい広場の一角で、１月２６日、金曜日、午前１０時から開所式を行います。来場された方には記念品を用意しておりますので、ぜひご来場ください。

通常の開館は、月曜、水曜、金曜、土曜の週４日、午前９時から午後４時までを予定しており、二宮地区における新たな健康づくりの拠点施設として、地元の自治会や女性団体を中心とした、およそ５０名の地域ボランティアの協力により運営してまいります。

保健室では、血圧や体脂肪、握力などを測定して、健康をチェックできるほか、気軽に健康相談や健康アドバイスを受けることができます。また、子育て世代の方も利用できるように赤ちゃんの体重測定器やキッズスペースなども設けておりますので、まち歩きや散歩途中の休憩場所としても、ご利用いただきたいと考えております。

（３）真岡市複合交流拠点施設の愛称募集について

次に、令和7年春の開館を目指して、現在、工事を進めております複合交流拠点施設についてであります。市民の新たな居場所「サードプレイス」として、永く愛され、親しまれる施設となるように、愛称を募集いたします。

本施設は、子育て支援センター、屋内・屋外の子ども広場、図書館、地域交流センターの「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」機能が連携、融合する施設で、未来を築くもおかっ子が、心身ともに健やかに成長できるように支えるとともに、すべての市民の皆さんに、新たな学びと発見の機会を提供するものであります。

愛称の応募資格は、真岡市民の方、または、市内に通勤・通学されている方とし、施設の目的や特性がイメージでき、わかりやすく親しみやすいもので、未発表の作品であること、などを要件としております。応募期間は本日、1月19日から2月29日までとし、インターネットのほか、図書館や子育て支援センターなどに備え付けの応募用紙で申し込むことができます。

応募いただいた作品は、施設の運営事業者の意見を参考に一次選考を行い、その後、市内小・中学生の投票により、今年の5月に決定する予定であります。なお、表彰式については、複合交流拠点施設が開館する際の記念式典において実施できるよう計画してまいります。

（４）もおかベリー号の利用促進事業について

次に、もおかベリー号の利用促進事業についてであります。3月1日から4月30日までの2カ月間、車内でアンケートに答えていただいた方を無料とする「もおかベリー号お試し乗車キャンペーン」を実施いたします。

もおかベリー号は、利用者および自治会へのアンケート結果を踏まえ、昨年10月に運行内容の見直しを行いました。見直し後は、9月の利用人数153人に対し、10月が188人、11月が197人、12月が200人と増加傾向にあり、今回のキャンペーンを通じて、さらなる利用促進を図ってまいります。

今後、各自治会を通じてチラシを回覧するほか、自治会や老人クラブなどからの要望に応じて、乗車方法や運行内容などの説明を行ってまいります。今回のキャンペーンを契機に、これまで利用したことが無い方にも、乗車を体験してもらい、移動手段としての「もおかベリー号」を知っていただくことで、新たな利用者の掘り起こしにつなげてまいりたいと考えております。

（５）旧中村南小学校の利活用について

次に、旧中村南小学校の利活用についてであります。昨年８月に開始した利活用事業の再公募に対して応募があり、１２月１５日に学識経験者や地域代表者などで構成する選定委員会を開催いたしました。その結果、小型電子機器の製造開発、およびＡＩを活用した新サービス開発を提案した、協栄精工株式会社を優先交渉権者として選定いたしました。

協栄精工株式会社は、市内で事業を営んでいる企業で、今回の提案では、既存の製造開発拠点を旧中村南小の校舎へ移転するほか、新たに起業者向けのシェアオフィスや、電子書籍等が閲覧できる地域交流スペースを整備したいとの内容でありました。今後は、基本協定を締結し、校舎などの貸付に向けた協議を進めてまいります。

（６）家庭系廃食用油の回収について

次に、一般家庭の使用済み食用油についてであります。家庭ごみの減量、および資源の有効活用を目的として、２月１日、木曜日から回収を実施いたします。

回収方法につきましては、各ご家庭で使用した食用油を、透明のペットボトルに入れていただき、回収ボックスを設置した市役所本庁舎、二宮コミュニティセンター、Auto Mirai 真岡公民館、および公民館の真岡西、山前、大内、中村の各分館にお持ちいただくものとなっております。

回収された油は、バイオマス資源として石鹼や塗料、バイオディーゼルなどに再利用されるほか、近い将来、ＣＯ２排出量の少ない航空機の燃料としての需要も見込まれております。現在、家庭から出る食用油の約９割に当たる年間１０万キロリットルが廃棄されているといわれており、ＳＤ

G s や 2 0 5 0 年 の カ ー ボ ン ニ ュ ー ト ラ ル 達 成 の た め に も 、 そ の 有 効 活 用 が 求 め ら れ て い ま す 。

取 り 組 み に つ い て は 、 今 後 、 市 ホ ー ム ペ ー ジ や 「 ウ イ ー ク リ ー ニ ュ ー ス も お か 」 な ど で 周 知 を 図 っ て ま い り ま す 。 詳 細 に つ い て は 、 環 境 課 ご み 減 量 係 ま で お 問 い 合 わ せ く だ さ い ま す よ う お 願 い い た し ま す 。

（ 7 ） 令 和 5 年 度 ふ る さ と 寄 附 事 業 の 現 状 に つ い て

次 に 、 令 和 5 年 度 ふ る さ と 寄 附 事 業 の 現 状 に つ い て で あ り ま す 。 1 2 月 末 現 在 の 件 数 は 、 前 年 比 で 3 . 3 倍 の 4 万 9 , 4 9 2 件 、 寄 附 金 額 は 、 4 . 1 倍 の 5 億 6 , 3 1 5 万 円 と な っ て お り 、 年 度 末 に は 、 過 去 最 高 の 6 億 5 , 0 0 0 万 円 に 達 す る 見 込 み で あ り ま す 。

主 な 要 因 と い た し ま し て は 、 昨 年 度 、 一 番 人 気 で あ り ま し た 「 い ち ご 」 に つ い て 、 協 力 い た だ け る 生 産 農 家 を 増 や す こ と で 、 前 年 の お よ そ 4 倍 の 受 付 を 可 能 に し た こ と 、 ま た 、 今 年 度 、 新 た に 1 7 1 種 類 の 返 礼 品 を 追 加 し た こ と 、 返 礼 品 が 毎 月 届 く 定 期 便 を 増 や し た こ と 、 な ど に よ り 、 寄 附 単 価 が 増 加 し た も の と 考 え て お り ま す 。

新 た な 返 礼 品 の 主 な も の と し て は 、 「 も お か ぴ ょ ん 」 と 「 コ ッ ト ベ リ ー 」 が S L に 乗 っ て 、 四 季 折 々 の 真 岡 を 案 内 す る コ ン セ プ ト を デ ザ イン し た ボ ッ ク ス テ ィ ッ シ ュ や 、 ア ウ ト ド ア 用 の 調 理 鍋 、 メ ロ ン や バ ナ ナ 、 シ ャ イン マ ス カ ッ ト な ど の フ ル ー ツ 、 白 米 、 餃 子 な ど で あ り ま す 。

今 後 も 、 魅 力 あ る 返 礼 品 を 開 拓 し 、 ふ る さ と 納 税 に よ り 、 全 国 に 向 け て 「 い ち ご 王 国 栃 木 の 首 都 も お か 」 の P R を 強 化 し て ま い り ま す 。

（ 8 ） そ の 他 （ イ ベ ン ト 等 の お 知 ら せ ）

そ の 他 と い た し ま し て 、 事 務 局 か ら 8 点 、 イ ベ ン ト 情 報 な ど を お 伝 え い た し ま す 。

1 点 目 は 、 第 4 7 回 栃 木 県 文 化 振 興 大 会 で あ り ま す が 、 明 日 、 1 月 2 0 日 、 土 曜 日 、 午 後 1 時 か ら K O B E L C O 真 岡 い ち ご ホ ー ル 大 ホ ー ル で 開 催 さ れ ま す 。 栃 木 県 文 化 奨 励 賞 を 受 賞 し た 五 月 女 凱 昂 (そ う と め が い こ う) 氏 に よ る 剣 舞 ・ 詩 舞 や 尊 徳 太 鼓 保 存 会 の 演 奏 の ほ か 、 会 場 に は 芳 賀 地 方 芸 術 祭 の 優 秀 作 品 や 真 岡 市 文 化 協 会 茶 華 道 部 会 の 活 花 な ど も 展 示 さ れ ま す 。

2点目は、真岡っ子をみんなで育てよう「フォーラム」であります。1月26日、金曜日、午後6時30分から、KOBELCO真岡いちごホール小ホールで開催いたします。講師にエレクトーン奏者 石下有美(いしおろしゆみ)氏を迎え、「音で育む絆」と題し、育児と仕事の両立や、子どもへの接し方について講演をいただくほか、ジブリメドレーなどの演奏も予定しております。

3点目は、真岡図書館リブフェス2024であります。1月28日、日曜日、図書館および二宮図書館で開催いたします。地元ボランティアの協力のもと、おはなし会やスタンプラリー、豆本作りワークショップのほか、縁日の模擬店や、市民が古本屋の店主となる「一箱古本市」などを開催いたします。

4点目は、真岡市女性団体連絡協議会主催の「市民のつどい」であります。2月3日、土曜日、午後1時30分からKOBELCO真岡いちごホール小ホールで開催いたします。講師に宇都宮大学農学部農業経済学科の西山未真(にしやまみま)教授を迎え、「食と農の未来を創る～私たち一人一人にできること～」と題して講演をいただきます。入場は無料ですが、事前申し込み制となりますので、希望される方は、市民協働推進室まで、電話、またはメール、ファックスでお申し込みください。

5点目は、いちご就農体験会であります。2月10日、土曜日、市内で開催いたします。対象は、就農を目指す方またはいちご栽培に関心のある方15名で、収穫やパック詰め体験を予定しております。希望される方は農政課農業振興係までお問い合わせください。

6点目は、本市出身である阿嶋優希(あじまゆうき)さんのクラリネットリサイタルであります。2月11日、日曜日、午後2時から、KOBELCO真岡いちごホール大ホールで開催いたします。クラリネットのソロ演奏のほか、ビオラ、ピアノとの三重奏や阿嶋さんによるソプラノ歌唱も予定されています。入場券は全席自由で大人1000円、高校生以下500円となっております。

7点目は、「真岡・浪漫ひな飾り」であります。2月1日、木曜日から3月3日、日曜日まで、4年振りに久保講堂をメイン会場として、金鈴荘など市内各所で開催いたします。数多くの雛人形と、つり雛のコラボレ

ーションを楽しめる久保講堂は、火曜日を除く午前10時から午後4時までの開館となっております。

8点目は、ハッシュタグキャンペーンであります。現在、「真岡のいちご」をテーマに募集しております。撮影した写真に「#moka fan」と「#真岡のいちご」を付けて、3月15日までにInstagram、またはエックスで投稿してください。投稿された方の中から、抽選で10名様に「いちご王国栃木の首都もおか」オリジナルグッズを贈呈いたします。